

第1日目 5月15日（木）第1会場（鶴鳴の間・西中）

主題Ⅰ-1 集学的治療の1パートとしての免疫療法

9:00 ~ 10:45

座長：永野 浩昭（山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学）

三森 功士（九州大学病院別府病院 外科）

SI-1-1 癌免疫療法を含む集学的治療で切除可能となった切除不能進行再発食道癌症例の検討

千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学

豊住 武司

SI-1-2 胃癌腹膜播種に対する腹腔内化学療法の抗腫瘍効果と腹腔内好酸球の役割

自治医科大学附属病院 消化器一般移植外科

松宮美沙希

SI-1-3 進行・再発胃癌におけるnon- ablative局所放射線治療を用いた複合がん免疫療法の開発

福島県立医科大学医学部 消化管外科学講座

福島県立医科大学医学部 輸血・移植免疫学講座

三村 耕作

SI-1-4 ピロリ菌除菌による胃癌抗腫瘍免疫応答増強の検討

大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学

西塔 拓郎

SI-1-5 ADAR1は大腸癌におけるトリフルリジン/チピラシルおよびベバシズマブ療法に対する反応性の指標となりうる

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学

萱野 真史

SI-1-6 周術期複合免疫製剤による肝細胞癌腫瘍微小環境の改変と免疫チェックポイント阻害剤治療効果向上の試み

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

小佐々貴博

SI-1-7 CSF-1 / CSF-1R阻害は骨肉腫の腫瘍微小環境の免疫細胞構成成分画を変化させ抗腫瘍効果を発揮する

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 整形外科

Memorial Sloan Kettering Cancer Center

Hospital for Special Surgery

藤原 智洋

スポンサードセミナー

11:00 ~ 12:00

SS 食道がんと腸内細菌叢

座長：松原 久裕（地方独立行政法人さんむ医療センター 疾病予防センター／千葉大学 名誉教授）
演者：馬場 祥史（東京大学 消化管外科学）
共催：ミヤリサン製薬株式会社

ランチョンセミナー 1

12:45 ~ 13:45

LS1 胃癌薬物療法アップデート ―免疫療法を中心に―

座長：河野 浩二（福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座）
演者：中山 巖馬（国立がん研究センター東病院 消化管内科）
共催：MSD株式会社

特別講演

13:55 ~ 14:55

SL 腫瘍局所の解析から紐解くがん免疫治療抵抗性の解明

座長：藤原 俊義（岡山大学学術研究院医歯薬学域 消化器外科学）
演者：熊谷 尚悟（国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野）

主題Ⅱ-1 空間軸と時間軸から見るがん免疫

15:00 ~ 16:15

座長：江口 英利（大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学）
柴田 昌彦（福島県立医科大学 地域包括的癌診療研究講座）

SII-1-1 テロメラーゼ依存性腫瘍融解アデノウイルスの骨軟部腫瘍への臨床応用を目指した蛍光タンパク質誘導ウイルスによる治療効果予測

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 整形外科
魚谷 弘二

SII-1-2 シングルセルRNAシーケンスと空間的遺伝子発現解析を用いた大腸癌発癌におけるNK細胞逃避機構の解明

九州大学病院別府病院 外科
大阪大学 消化器外科
樋口 智

SII-1-3 胃癌における免疫チェックポイント分子の空間的・経時的な腫瘍不均一性の包括的解析

熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科
山下 晃平

SII-1-4 大腸癌症例におけるTertiary Lymphoid Structures(TLS)と化学療法感受性について

群馬大学医学部附属病院 総合外科学講座
細井 信宏

SII-1-5 経口抗菌薬とProbiotics の併用による免疫チェックポイント阻害薬の効果増強

昭和医科大学臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門

東海大学大学院医学研究科 先端医科学

東海大学医学部 外科学系消化器外科学

田島 康平

主題 I -2 集学的治療の1パートとしての免疫療法

16:30 ～ 18:00

座長：稲木 紀幸（金沢大学医薬保健研究域医学系 消化管外科学/乳腺外科学）

五井 孝憲（福井大学医学部 第一外科）

SI-2-1 当科における切除不能食道癌に対する化学療法＋免疫チェックポイント阻害薬使用後のConversion Surgeryの経験

和歌山県立医科大学 第2外科

北谷 純也

SI-2-2 食道癌における術後再発高リスクに対する術後補助ニボルマブ療法

熊本大学病院 消化器外科

原田 和人

SI-2-3 大腸癌後方治療において体組成変化が治療効果に及ぼす影響

大阪公立大学大学院 消化器外科

渋谷 雅常

SI-2-4 当院での食道がん治療における免疫チェックポイント阻害薬の使用経験

横浜市立市民病院 消化器外科

田中 優作

SI-2-5 当院の進行再発胃癌に対する化学療法＋免疫チェックポイント阻害薬併用療法の治療成績

横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学

近藤 裕樹

SI-2-6 当院における切除不能進行・再発胃癌に対するSOX＋ニボルマブ療法の治療成績の検討

関門医療センター

山本 常則

第1日目 5月15日（木）第2会場（鶴鳴の間・東）

一般演題1 微小環境

9:00 ~ 9:50

座長：神田 光郎（名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学教室）

- O1-1 オートファジー阻害は膵臓癌におけるMHC-I発現やアポトーシス誘導を活性化してp53武装化腫瘍融解ウイルスの抗腫瘍効果を増強する

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
高橋 洋祐

- O1-2 IL-1RアンタゴニストはNF- κ Bシグナルを介した膵癌転移能を抑制する

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科
傳田 悠貴

- O1-3 DNMT阻害剤によるエピジェネティック制御はcGAS-STING-I型IFN-MHC-I経路を活性化して膵臓癌に対するp53ウイルス免疫療法の効果を増強する

岡山済生会総合病院 外科
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
陶守 貫人

- O1-4 ヒト膵臓病変におけるADM、PanINとTuft細胞の検討

大阪医科薬科大学 一般・消化器外科
中西 健輔

- O1-5 ゲムシタビン耐性膵臓癌に対するスタチン系薬剤による老化関連免疫抑制環境の抑制とp53武装化腫瘍融解ウイルスを併用した複合ウイルス療法の開発

香川労災病院 外科
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
藤田 脩斗

一般演題2 Conversion Surgery 1

10:00 ~ 10:40

座長：瀧口 修司（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学）

- O2-1 切除不能進行胃癌の2nd lineとしてNivolumab投与後にConversion手術を施行した1例

岡山大学 消化器外科
三又 雄大

02-2 胃癌腹膜播種に対して胃空腸バイパス術後にChemo+ICI療法を施行し、Conversion surgeryを施行した1例

香川労災病院 外科・消化器外科
大谷 朋子

02-3 門脈腫瘍栓を伴う多発肝転移にICI+化学療法が著効し、conversion surgeryを行ったAFP産生食道胃接合部癌の1例

岡山赤十字病院 消化器外科
赤井 正明

02-4 切除不能進行食道癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を含めた集学的治療によりConversion surgeryを施行した1例

独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター
小川 俊博

施設代表者会議

12:05 ~ 12:35

一般演題3 irAE

15:00 ~ 15:40

座長：亀井 尚（東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学）

03-1 免疫チェックポイント阻害薬による重症筋無力症・筋炎・肝障害を合併した一例

川崎医科大学 消化器外科
井上 貴裕

03-2 ICU管理を要した免疫関連有害事象（irAE）の臨床経過と特徴

福山市民病院 外科
西村星多郎

03-3 食道癌治療中に発症したirAE：副腎不全としての多様な経験

名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学
齋藤 正樹

03-4 irAE発症後のレジメン変更で病理学的完全奏功が得られた食道癌の一例

金沢大学附属病院 消化管外科
三田 和芳

一般演題4 Translational Research 1

15:50 ~ 16:50

座長：吉住 朋晴（九州大学大学院 消化器・総合外科）

- O4-1 右側結腸癌の再発形式から遺伝子情報を類推することの重要性
川崎医科大学 消化器外科学
神原 啓伸
- O4-2 脾癌術前補助化学療法中の薬剤性間質性肺疾患の危険因子としてのCRP値の意義
愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆脾・乳腺外科学講座
岩田 みく
- O4-3 高リスク胃癌患者の治療経過と栄養評価
日本生命病院
川田 純司
- O4-4 大腸癌におけるADAR1高発現マクロファージを介した化学療法耐性獲得メカニズムとJAK阻害剤によるRNA編集機構を標的とした新規治療法の有用性
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
森分 和也
- O4-5 脾癌患者末梢血の経時的解析による癌抗原特異的CD8T細胞と予後
大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科
医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究センター
青松 倫弘
- O4-6 食道癌におけるPDPN標的免疫療法（PDPNPIT）の有用性の検討 ～ FAP標的免疫療法（FAPPIT）との比較解析を通じた評価～
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学
松本 祐

一般演題5 薬物療法

17:00 ~ 17:50

座長：前田 清（大阪公立大学大学院医学研究科 外科学講座）

- O5-1 手術療法と免疫チェックポイント阻害剤により完治が得られた盲腸癌症例
周南記念病院消化器病センター 外科
藤井 敏之
- O5-2 BRAF変異陽性かつMSI-High大腸癌stageIVに対してPembrolizumabにて長期生存が得られている1例
近畿大学病院 外科
梅田 一生

プログラム
第1日目

プログラム
第2日目

特別講演

共催セミナー

主題Ⅰ

主題Ⅱ

一般演題

- O5-3 集学的治療により長期生存を得ている切除不能S状結腸癌の1例
金沢大学附属病院 消化管外科/乳腺外科
真智 涼介
- O5-4 胃癌術後5年後の肝転移再発に対して薬物療法により治療した1例
川崎医科大学 消化器外科学
上野 綸
- O5-5 ICI投与後にXELOXが著効した進行胃癌多発肝転移の1例
岡山済生会総合病院 外科
藤井 健史